

第7 特別会計 (決算審査資料第1～4、7～8、10、15、16表参照)

国民健康保険など11特別会計の決算額は、次のとおりです。

(単位：千円)

会計別	歳 決 算 入 額 (A)	歳 決 算 出 額 (B)	歳 入 歳 出 差 引 額 (C)=(A-B)	翌年度へ繰越 すべき財源 (D)	実質収支額 (E)=(C-D)
国民健康保険	41,473,558	41,087,631	385,926	0	385,926
食肉センター	314,918	309,928	4,990	0	4,990
農業共済事業	18,905	18,454	450	0	450
区画整理清算費	7,820	6,605	1,215	0	1,215
中小企業勤労者 福祉共済事業	124,380	116,313	8,067	0	8,067
公共用地買収事業	274,230	272,039	2,190	0	2,190
介護保険	23,795,640	23,724,936	70,704	0	70,704
後期高齢者医療事業	5,030,729	4,875,197	155,532	0	155,532
母子寡婦福祉 資金貸付事業	70,135	6,399	63,735	0	63,735
鳴尾外財産区	25,443	25,443	0	0	0
集合支払費	1,761,242	1,761,242	0	0	0
計	72,897,005	72,204,192	692,812	0	692,812

市街地整備事業特別会計には予算が計上されておらず、23年度の歳入・歳出はありませんでした。
老人保健医療事業特別会計は、23年3月31日に廃止されています。

1 国民健康保険特別会計

当会計は国民健康保険法に基づき、西宮市が保険者となり医療保険事業等を行っているものです。

20年4月以降、75歳以上（一定の障害のある人は65歳以上）の被保険者は国民健康保険を脱退し、後期高齢者医療制度に加入しています。

(1) 決算の状況

決算の状況は、次のとおりです。

歳入

(単位:千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
国民健康保険料	10,283,034	15,697,078	9,587,982	1,132,970	4,976,124	61.1	9,239,014	348,968
国庫支出金	9,563,534	9,642,184	9,642,184	0	0	100.0	9,287,446	354,738
療養給付費等交付金	2,021,014	2,143,703	2,143,703	0	0	100.0	1,844,960	298,742
前期高齢者交付金	10,091,210	10,091,210	10,091,210	0	0	100.0	9,231,156	860,054
県支出金	1,774,200	1,699,736	1,699,736	0	0	100.0	1,623,648	76,088
共同事業交付金	4,501,526	4,517,361	4,517,361	0	0	100.0	4,259,940	257,421
財産収入	353	271	271	0	0	100.0	450	178
繰入金	4,619,563	3,724,038	3,724,038	0	0	100.0	3,753,134	29,095
繰越金	37,084	37,083	37,083	0	0	100.0	456,689	419,605
諸収入	62,001	70,738	29,984	0	40,753	42.4	56,180	26,196
計	42,953,519	47,623,407	41,473,558	1,132,970	5,016,878	87.1	39,752,621	1,720,937

歳出

(単位:千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
総務費	549,744	524,597	0	25,146	95.4	559,486	34,888
保険給付費	30,043,939	28,623,665	0	1,420,273	95.3	27,765,241	858,423
後期高齢者支援金	4,859,267	4,859,265	0	1	100.0	4,347,205	512,060
前期高齢者納付金	14,390	14,388	0	1	100.0	7,562	6,826
老人保健拠出金	3,251	3,249	0	1	100.0	54,363	51,114
介護納付金	2,049,280	2,049,279	0	0	100.0	1,851,740	197,538
共同事業拠出金	4,758,514	4,468,299	0	290,214	93.9	4,454,212	14,086
保健事業費	310,493	238,113	0	72,379	76.7	210,592	27,521
基金積立金	18,895	18,813	0	81	99.6	228,795	209,981
諸支出金	295,746	287,957	0	7,788	97.4	236,337	51,620
予備費	50,000	0	0	50,000	-	0	0
計	42,953,519	41,087,631	0	1,865,887	95.7	39,715,537	1,372,093

予算現額429億5,351万円に対し、歳入414億7,355万円、歳出410億8,763万円で、歳入歳出差引額3億8,592万円が翌年度へ繰越されています。

歳入のうち繰越金の減は、前年度決算剰余金の減によるものです。前期高齢者交付金の増は概算交付額の増及び前々年度精算額により、国庫支出金の増は療養給付費等負担金の増により、国民健康保険料の増は調定額の増によるものです。

歳出のうち基金積立金の減は、前年度決算剰余金の減によるものです。保険給付費の増は一般被

保険者療養諸費の増などにより、後期高齢者支援金の増は概算拠出額の増及び前々年度精算額によるものです。

基金積立金は、前年度剰余金(3,708万円)の2分の1を下らない額1,854万円と基金利子27万円を積立てたものです。

(2) 保険料収入

23年度の保険料収入状況は、次のとおりです。

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	前年度 収入率
現 年 度 分	9,697,325	10,223,465	9,155,935	0	1,067,529	89.6	88.9
滞 納 繰 越 分	585,709	5,473,612	432,046	1,132,970	3,908,595	7.9	7.0
計	10,283,034	15,697,078	9,587,982	1,132,970	4,976,124	61.1	59.4

一人当たり保険料(医療分現年度調定額)は66,268円で、前年度の64,711円に比べ、1,557円(2.4%)増加しています。また、医療分、後期高齢者支援金分、介護分を合わせた保険料の軽減は33,141世帯、14億4,194万円、減免は24,338件、3億6,185万円となっています。

収入率は前年度と比べ現年度分については、0.7ポイント増加し89.6%、滞納繰越分については0.9ポイント増加し7.9%となっています。収入率が増加したのは、これまで実施している一般会計からの繰入に伴う保険料率の抑制や徴収対策の効果等によるものと考えられます。

収入未済額49億7,612万円を前年度の55億8,810万円と比較すると6億1,197万円(11.0%)減少しています。不納欠損額は11億3,297万円(9,640件)で、徴収不能債権の処理を積極的に進めたことにより前年度の7億3,660万円(7,449件)に比べ、金額で3億9,636万円(53.8%)、件数で2,191件(29.4%)増加しています。

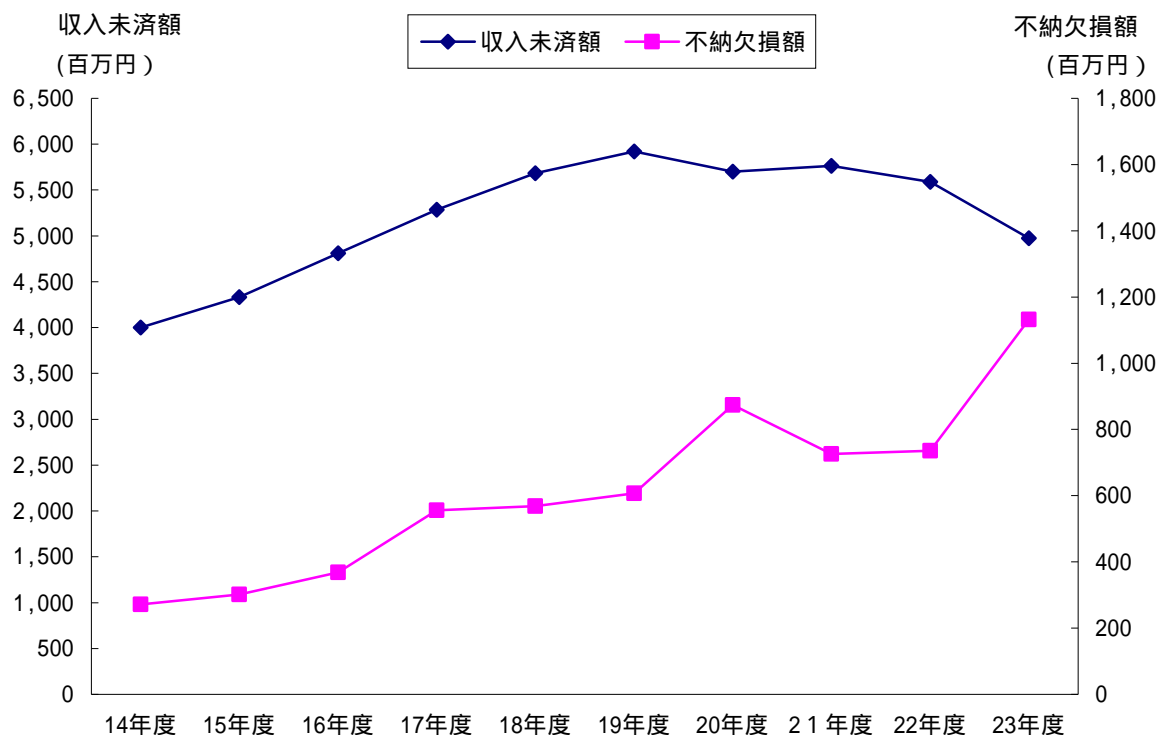
(3) 滞納対策

前年度に引続き策定された「西宮市国民健康保険収納対策緊急プラン」に基づき、預貯金等の財産調査、悪質滞納者への差押えの可能性を示唆した納付交渉及び滞納処分の強化、不良債権化した滞納保険料の執行停止処理などにより、収入率の向上に努めています。また22年度にはコンビニエンスストアを利用した収納が完全実施され、現年度分保険料の収納確保や早期滞納対策に努めています。

特別の事情がなく再三の納付相談案内にも応じない世帯に対し、被保険者証の返還を求め、被保険者資格証明書を交付するなど、国民健康保険法で義務付けられた滞納者対策の実施に努めています。24年5月末日現在で、305世帯に被保険者資格証明書が交付されています。

所在不明者に対する取組みの結果、23年度では16件が住民登録の職権消除となっています。

最近10か年の収入未済額等の状況は、次のとおりです。



(4) 医療給付

最近5か年の医療給付に係る受診率等は、次のとおりです。

(単位：％・円・人)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	対前年度 増減率
受 診 率	1,409.6	1,170.7	1,181.2	1,171.4	1,189.4	-
1件当たり費用額	22,503	18,446	18,488	18,970	19,120	0.8
一人当たり費用額	429,743	292,766	301,303	311,880	320,476	2.8
年間平均被保険者数	142,707	109,339	109,170	109,731	109,619	0.1

注1 20年度以降は老人保健法適用分を含まない。

2 受診率 = 件数(調剤支給件数を除く) ÷ 年間平均被保険者数 × 100

20年4月の後期高齢者医療制度の創設に伴い、75歳以上(一定の障害のある人は65歳以上)の被保険者は国民健康保険を脱退し、新しく後期高齢者医療制度に加入しています。このため、20年度以降の受診率等の数値は、大きく低下しています。

(5) 西宮市国民健康保険財政安定化基金

西宮市国民健康保険財政安定化基金は、国民健康保険事業の財政安定化に資するため、設置されています。23年度は22年度決算剰余金 3,708万円の2分の1を下らない額、1,854万円、基金運用利子27万円を合わせて1,881万円が積立てられています。23年度末(24年3月末日)の現在高は2億7,568万円となっています。

2 食肉センター特別会計

当会計は、と畜場法、西宮市食肉センター条例に基づき設置された西宮市食肉センター及び卸売市場法、西宮市食肉地方卸売市場条例に基づき併設された西宮市食肉地方卸売市場の管理運営を行うもので、決算状況は、次のとおりです。

歳入

(単位:千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
使用料及び手数料	119,778	130,685	130,685	0	0	100.0	136,092	5,407
繰入金	154,581	135,440	135,440	0	0	100.0	127,370	8,070
繰越金	4,991	4,991	4,991	0	0	100.0	4,993	1
諸収入	11,531	14,100	14,100	0	0	100.0	15,758	1,657
整備事業債	38,100	29,700	29,700	0	0	100.0	23,400	6,300
計	328,981	314,918	314,918	0	0	100.0	307,615	7,303

歳出

(単位:千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
食肉センター費	300,366	281,314	0	19,051	93.7	274,500	6,814
公債費	28,615	28,613	0	1	100.0	28,122	491
計	328,981	309,928	0	19,052	94.2	302,623	7,305

予算現額3億2,898万円に対して、歳入3億1,491万円、歳出3億992万円で、歳入歳出差引額499万円が翌年度へ繰越されています。

最近5か年の食肉センター利用状況等は、次のとおりです。

区分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	対前年度 増減率
年間処理頭数	頭	59,324	62,196	61,369	62,294	62,295	0.0
大動物	頭	12,186	16,511	15,376	15,899	14,700	7.5
小動物	頭	47,138	45,685	45,993	46,395	47,595	2.6
稼働率(大動物)	%	81.2	111.0	102.1	105.2	98.4	-
処理単価(大動物)	円	10,279	9,985	9,164	9,130	8,940	2.1
稼働率(小動物)	%	79.2	75.8	75.1	76.1	77.4	-
処理単価(小動物)	円	2,569	2,496	2,291	2,282	2,235	2.1
食肉センター使用料	千円	95,882	111,729	102,637	113,073	108,172	4.3
大動物(1頭)	円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	0.0
小動物(1頭)	円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	0.0
冷蔵庫使用料	千円	18,178	18,995	18,470	19,010	18,942	0.4
卸売市場使用料	千円	1,666	2,504	2,746	3,958	3,520	11.1
庁舎敷等使用料	千円	57	57	55	50	50	0.0
計	千円	115,785	133,287	123,908	136,092	130,685	4.0

注 処理単価は牛:豚=4:1で算出。

23年度の歳入は、大動物の処理頭数の減により使用料及び手数料収入が540万円減少したものの、繰入金で807万円、整備事業債で630万円増加したことなどにより、前年度に比べ730万円の増となっています。23年度の公債費2,861万円を除いた運営経費に充てる一般会計の繰入金は1億682万円となっています。

西宮市食肉センター、西宮市食肉地方卸売市場の管理運営は、20年4月よりセンターの使用許可業者により設立された管理会社が、指定管理者となり行っています。

3 農業共済事業特別会計

当会計は農業災害補償法に基づき、農業者が災害によって受ける損失を補てんし、農業経営の安定を図ることを目的とした農作物等の災害共済事業で、決算状況は、次のとおりです。

歳入

(単位:千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A)-(B)
農作物勘定収入	890	758	758	0	0	100.0	649	109
園芸施設勘定収入	931	421	421	0	0	100.0	541	119
業務勘定収入	18,182	17,724	17,724	0	0	100.0	18,998	1,273
計	20,003	18,905	18,905	0	0	100.0	20,189	1,284

歳出

(単位:千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A)-(B)
農作物勘定支出	890	504	0	385	56.7	463	40
園芸施設勘定支出	931	225	0	705	24.2	368	143
業務勘定支出	18,182	17,724	0	457	97.5	18,998	1,273
計	20,003	18,454	0	1,548	92.3	19,830	1,375

予算現額2,000万円に対して、歳入1,890万円、歳出1,845万円で、歳入歳出差引額45万円が翌年度へ繰越されています。

23年度の水稲共済（農作物勘定）の加入戸数は229戸で、前年度に比べ、1戸増加しています。園芸施設共済の加入戸数は10戸で、前年度に比べ、1戸減少しています。

水稲共済掛金収入は23万円で、引受収量248,159Kg、園芸施設共済掛金収入は16万円で、引受面積88.81aとなっています。一方、これに対する共済金は、水稲共済では被害件数11件、支払額は13万円、園芸施設共済では被害棟数3棟、支払額は9万円となっています。

西宮市農業共済事業基金は、農業災害補償法により、将来起こりうる大きな災害の際の支払不足に備えて設置されており、毎事業年度の剰余金を積立てるよう、義務付けられています。

23年度は、前年度剰余金18万円、基金運用利子1万円が積立てられています。一方、農作物勘定で無事もどし金、業務勘定で損害防止費の充当財源として合わせて35万円の取崩しが行われ、23年度末(24年3月末日)現在高は1,357万円となっています。

4 区画整理清算費特別会計

当会計は、土地区画整理事業により生じた、施行区域内の権利者間の土地の権利価額の不均衡を是正するため、清算金の徴収及び交付を行うことを目的としたもので、決算状況は、次のとおりです。

歳入

(単位:千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
清算徴収金	6,605	10,091	7,820	0	2,270	77.5	8,164	343
繰越金	1	0	0	0	0		0	0
計	6,606	10,091	7,820	0	2,270	77.5	8,164	343

歳出

(単位:千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
清算費	6,606	6,605	0	0	100.0	8,164	1,559

予算現額660万円に対し、歳入782万円、歳出660万円となっています。

収入済額の内訳は、西宮北口駅北東地区の清算徴収金211万円、段上地区の清算徴収金490万円、森具地区の清算徴収金80万円となっています。収入未済額は、滞納繰越分227万円となっています。

歳出の660万円は一般会計への繰出金となっています。

歳入歳出差引額121万円が翌年度へ繰越されています。

5 中小企業勤労者福祉共済事業特別会計

当会計は、西宮市中小企業勤労者福祉共済条例に基づき、市内の中小企業勤労者の福祉の増進を図るとともに、中小企業の振興に寄与することを目的として、勤労者に対し福祉事業を実施するもので、決算状況は、次のとおりです。

歳入

(単位:千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
福祉共済掛金	53,381	53,497	53,497	0	0	100.0	53,717	220
財産収入	81	70	70	0	0	100.0	89	19
繰入金	64,974	58,308	58,308	0	0	100.0	61,492	3,183
繰越金	4,765	4,764	4,764	0	0	100.0	4,876	111
諸収入	9,049	7,740	7,740	0	0	100.0	9,214	1,474
計	132,250	124,380	124,380	0	0	100.0	129,390	5,009

歳 出

(単位:千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
福 祉 共 済 費	132,250	116,313	0	15,936	87.9	124,625	8,312

予算現額1億3,225万円に対し、歳入1億2,438万円、歳出1億1,631万円で、歳入歳出差引額806万円が翌年度へ繰越されています。

23年度の事業としては、退職慰労金などの福祉共済給付事業として4,493万円及び観劇・施設利用料等補助などの福利厚生事業として2,361万円が支出されています。

不用額1,593万円の内訳は、主に退職慰労金が見込みより少なかったことなどにより事業費で1,463万円、事務費で130万円となっています。

西宮市中小企業勤労者福祉共済基金は、西宮市中小企業勤労者福祉共済条例に定める福祉事業を効率的に運営するため設置されています。23年度は前年度からの繰越金476万円、基金運用利子7万円、福祉共済掛金からの積立金714万円を合わせて、1,197万円が積立てられています。また、福祉共済給付金への充当財源として、1,349万円が取崩されたことにより、23年度末現在高は7,924万円となっています。

6 公共用地買収事業特別会計

当会計は、公共用地の取得を円滑にすることを目的とし、道路及び市街地整備の用地買収事業を行うもので、決算状況は、次のとおりです。

歳 入

(単位:千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
道路用地買収事業収入	230,346	230,299	230,299	0	0	100.0	165,724	64,575
市街地整備用地買収事業収入	43,930	43,931	43,931	0	0	100.0	28,835	15,095
計	274,276	274,230	274,230	0	0	100.0	194,559	79,671

歳 出

(単位:千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
道路用地買収事業費	230,346	230,299	0	46	100.0	157,748	72,551
市街地整備用地買収事業費	43,930	41,740	0	2,189	95.0	10,068	31,672
計	274,276	272,039	0	2,236	99.2	167,816	104,223

予算現額 2 億 7,427 万円に対し、歳入 2 億 7,423 万円、歳出 2 億 7,203 万円で、歳入歳出差引額 219 万円が翌年度へ繰越されています。

(1) 道路用地買収事業

収入済額の主なものは、一般会計からの繰入金 2 億 2,144 万円となっています。

支出済額の主なものは、土地開発公社償還金等の公有財産購入費で 1 億 981 万円、公債費 9,403 万円となっています。

(2) 市街地整備用地買収事業

収入済額は、不動産売払収入 2,500 万円、土地建物貸付収入 16 万円、繰越金 1,876 万円となっています。支出済額の主なものは、一般会計への繰出金 4,125 万円となっています。

7 介護保険特別会計

介護保険は、加齢や病気等で、介護や日常生活の支援が必要となった人について、その人が持つ心身の能力を活かし自立した日常生活が営めるように、必要な介護サービスに係る給付を行うほか、介護や支援などが必要な状態になるのを予防することを主な目的とした、地域支援事業を行っています。

当会計は介護保険法に基づき、西宮市が保険者となり制度運営を行っているものです。

(1) 決算の状況

決算の状況は、次のとおりです。

歳 入

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
介 護 保 険 料	4,547,538	4,704,114	4,571,983	23,028	109,102	97.2	4,490,755	81,227
国 庫 支 出 金	5,147,859	5,013,749	5,013,749	0	0	100.0	4,788,287	225,462
支 払 基 金 交 付 金	6,969,404	6,808,831	6,808,831	0	0	100.0	6,566,640	242,190
県 支 出 金	3,451,322	3,376,174	3,376,174	0	0	100.0	3,254,800	121,374
財 産 収 入	1,659	945	945	0	0	100.0	1,319	373
繰 入 金	4,127,002	3,872,922	3,872,922	0	0	100.0	3,470,608	402,314
繰 越 金	128,009	128,009	128,009	0	0	100.0	231,867	103,857
諸 収 入	25,697	105,844	23,024	0	82,820	21.8	31,217	8,193
計	24,398,490	24,010,591	23,795,640	23,028	191,922	99.1	22,835,495	960,144

歳出

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)		増減額	
						(A)	(B)	(A)	(B)
総務費	721,408	675,078	0	46,330	93.6	590,131		84,946	
保険給付費	23,066,112	22,509,462	0	556,649	97.6	21,557,342		952,119	
地域支援事業費	464,686	417,336	0	47,349	89.8	429,206		11,870	
基金積立金	1,667	945	0	721	56.7	27,430		26,484	
諸支出金	124,617	122,113	0	2,503	98.0	103,374		18,739	
予備費	20,000	0	0	20,000	0.0	0		0	
計	24,398,490	23,724,936	0	673,553	97.2	22,707,485		1,017,450	

予算現額243億9,849万円に対し、歳入237億9,564万円、歳出237億2,493万円で、歳入歳出差引額7,070万円が翌年度へ繰越されています。

介護保険料の不納欠損額は2,302万円(714人)で、前年度の2,257万円(741人)に比べ、45万円増加しています。

(2) 保険料収入

保険料の収入状況は、次のとおりです。

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	4,524,735	4,599,518	4,552,244	0	47,273	99.0
特別徴収		4,086,734	4,086,734	0	0	100.0
普通徴収		512,784	465,510	0	47,273	90.8
滞納繰越分	22,803	104,596	19,738	23,028	61,828	18.9
計	4,547,538	4,704,114	4,571,983	23,028	109,102	97.2

保険料の滞納については滞納期間に応じて保険給付の制限を行う制度などがありますが、23年度末の給付制限に関する状況は、支払方法変更(償還払い)23人、給付額減額(第1号被保険者、9割7割)13人となっています。

(3) 保険給付

保険給付の状況は、次のとおりです。

(単位：件・千円・%)

区 分	22年度			23年度		
	件数	金額	金額の割合	件数	金額	金額の割合
居宅介護支援・介護予防支援	102,883	1,117,184	5.2	109,663	1,179,343	5.2
居宅サービス	243,663	10,315,199	47.9	267,378	11,277,635	50.1
地域密着型サービス	6,641	1,304,927	6.1	7,016	1,369,298	6.1
施設サービス	28,571	7,563,591	35.1	28,148	7,402,317	32.9
特定入所者介護サービス	33,684	729,535	3.4	34,816	752,055	3.3
高額介護サービス等	42,031	500,598	2.3	45,085	506,476	2.3
審査支払手数料	375,791	26,305	0.1	406,081	22,334	0.1
計	833,264	21,557,342	100.0	898,187	22,509,462	100.0

23年度の保険給付は前年度に比べ、件数で64,923件(7.8%)、金額で9億5,211万円(4.4%)増加しています。

(4) 西宮市介護給付費準備基金

西宮市介護給付費準備基金は、介護保険法に基づく介護保険給付及び地域支援事業の財源に不足が生じたときの財源に充てるため設置されています。23年度は、基金利子93万円が積立てられています。年度中の取崩しはありません。23年度末(24年3月末日)現在高は10億8,279万円となっています。なお、23年度出納整理期間中に3億1,600万円を取崩し保険給付費に充当しています。

(5) 西宮市介護従事者処遇改善臨時特例基金

西宮市介護従事者処遇改善臨時特例基金は、介護従事者の処遇改善を図るという21年度の介護報酬改定の趣旨等にかんがみ、当該改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するため設置されています。23年度は、基金利子1万円が積立てられています。取崩しは基金全額の645万円介護保険料の軽減周知経費に充当されています。23年度末(24年3月末日)現在高は皆減となっています。

8 後期高齢者医療事業特別会計

当会計は、国民皆保険制度を維持し、将来にわたり持続可能なものとするとともに、高齢者世代と現役世代の負担を明確で、公平なものとするため20年4月に創設された、後期高齢者医療事業に係る特別会計で、決算状況は、次のとおりです。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
医療保険料	3,947,193	3,951,055	3,889,468	1,276	60,309	98.4	3,771,257	118,211
広域連合支出金	37,336	58,374	58,374	0	0	100.0	53,783	4,591
繰入金	953,365	899,909	899,909	0	0	100.0	876,488	23,420
繰越金	144,316	144,315	144,315	0	0	100.0	140,547	3,767
諸収入	37,935	38,661	38,661	0	0	100.0	42,773	4,112
計	5,120,145	5,092,316	5,030,729	1,276	60,309	98.8	4,884,851	145,878

歳出

(単位：千円・%)

項別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
総務費	216,589	205,332	0	11,256	94.8	216,659	11,327
広域連合納付金	4,756,345	4,549,506	0	206,838	95.7	4,411,749	137,756
保健事業費	135,416	112,826	0	22,589	83.3	104,487	8,339
諸支出金	11,795	7,532	0	4,262	63.9	7,638	105
計	5,120,145	4,875,197	0	244,947	95.2	4,740,535	134,662

予算現額51億2,014万円に対し、歳入50億3,072万円、歳出48億7,519万円で、歳入歳出差引額1億5,553万円が翌年度へ繰越されています。

23年度の保険料収入状況は、次のとおりです。

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現 年 度 分	3,916,060	3,894,625	3,863,328	0	31,296	99.2
滞 納 繰 越 分	31,133	56,430	26,140	1,276	29,013	46.3
計	3,947,193	3,951,055	3,889,468	1,276	60,309	98.4

平均被保険者数は44,008人で、一人当たり保険料は88,498円となっています。

9 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

当会計は、母子家庭の母などに、経済的な安定と自立のため必要な資金を貸付ける母子・寡婦福祉資金に係る特別会計で、決算状況は、次のとおりです。

歳 入

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	収入率	前年度収入 済 額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
繰 入 金	1,221	1,094	1,094	0	0	100.0	996	98
繰 越 金	1	49,169	49,169	0	0	100.0	34,225	14,944
諸 収 入	18,899	56,433	19,870	1,343	35,219	35.2	20,299	428
計	20,121	106,698	70,135	1,343	35,219	65.7	55,521	14,613

歳 出

(単位：千円・%)

項 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済 額 (B)	増 減 額 (A) - (B)
母子寡婦福祉資金 貸付事業費	20,121	6,399	0	13,721	31.8	6,351	48

予算現額2,012万円に対し、歳入7,013万円、歳出639万円で、歳入歳出差引額6,373万円が翌年度へ繰越されています。

不用額1,372万円は、母子寡婦福祉資金貸付事業費の貸付金等に係るものとなっています。

10 鳴尾外財産区特別会計

市内には鳴尾財産区など、26の財産区(名塩財産区を除く)があります。

当会計は、地方自治法第294条第3項に基づき、鳴尾財産区などの財産区の収入及び支出を取扱うものです。財産区は、その所有する土地などの財産、または、公の施設を管理することを目的とする特別地方公共団体で、市長が管理者として、その事務を処理しています。

決算状況は、次のとおりです。

歳入

(単位：千円・%)

款別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
鳴尾財産区収入	16,533	16,532	16,532	0	0	100.0	16,532	0
上大市外4区有財産区収入	5,511	5,510	5,510	0	0	100.0	5,510	0
越木岩財産区収入	2,200	2,200	2,200	0	0	100.0	2,200	0
上瓦林財産区収入	300	300	300	0	0	100.0	300	0
上新田財産区収入	900	900	900	0	0	100.0	900	0
計	25,444	25,443	25,443	0	0	100.0	25,443	0

歳出

(単位：千円・%)

款別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
鳴尾財産区支出	16,533	16,532	0	0	100.0	16,532	0
上大市外4区有財産区支出	5,511	5,510	0	0	100.0	5,510	0
越木岩財産区支出	2,200	2,200	0	0	100.0	2,200	0
上瓦林財産区支出	300	300	0	0	100.0	300	0
上新田財産区支出	900	900	0	0	100.0	900	0
計	25,444	25,443	0	0	100.0	25,443	0

予算現額2,544万円に対し、歳入歳出決算額は、それぞれ2,544万円となっています。

各財産区の歳入・歳出状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

財産区	歳入			歳出	
	科目	金額	説明	科目	金額
鳴尾	土地建物貸付収入	16,532	戸崎町溜池敷地貸付料	寄附金	16,532
上大市外4区有	土地建物貸付収入	5,510	仁川町6丁目溜池敷地貸付料等	積立金	4,002
				工事請負費	307
				寄附金	1,200
			計	5,510	
越木岩	土地建物貸付収入	2,200	北山町溜池敷地貸付料	寄附金	2,200
上瓦林	土地建物貸付収入	300	日野町溜池敷地貸付料	寄附金	300
上新田	土地建物貸付収入	900	樋ノ口町2丁目溜池敷地貸付料	寄附金	900
合計		25,443			25,443

上大市外4区有財産区積立金400万円は、特別会計において積立てられています。

財産区特別会計から支出された寄附金2,113万円は、一般会計の総務費寄附金として収入され、同額が地区自治団体運営交付金として支出されています。同交付金は、地域住民で組織された各区有財産管理委員会が、自主的に柔軟な管理運営を行えるよう寄附金の範囲内で、当該委員会に対し交付されるものです。

各区有財産管理委員会に対する一般会計からの地区自治団体運営交付金は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分	21年度	22年度	23年度
鳴尾区有財産管理委員会	16,532	16,532	16,532
上大市外4区有財産管理委員会	1,200	1,200	1,200
越木岩区有財産管理委員会	2,200	2,200	2,200
上瓦林区有財産管理委員会	300	300	300
上新田区有財産管理委員会	900	900	900
計	21,132	21,132	21,132

11 集合支払費特別会計

当会計は、一般会計と特別会計での電気使用料、ガス使用料、水道及び下水道使用料並びに電話使用料の支払事務を一元化することにより、その支払の確実性と簡素化を図るためのものであり、決算状況は、次のとおりです。

歳 入

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	調定額	収入済額 (A)	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	前年度収入 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
繰替金収入	1,887,877	1,761,242	1,761,242	0	0	100.0	1,766,085	4,843

歳 出

(単位：千円・%)

款 別	予算現額	支出済額 (A)	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度支出 済額 (B)	増減額 (A) - (B)
集合支払費	1,887,877	1,761,242	0	126,634	93.3	1,766,085	4,843

予算現額18億8,787万円に対し、歳入歳出決算額は、それぞれ17億6,124万円となっています。

各料金を前年度と比較すると、次のとおりです。

(単位：千円・%)

区 分	22年度	23年度	比較増減額	増 減 率
電 気 使 用 料	888,292	904,657	16,365	1.8
ガ ス 使 用 料	219,720	227,840	8,119	3.7
水道及び下水道使用料	529,524	510,718	18,805	3.6
電話・回線使用料	128,548	118,026	10,522	8.2
計	1,766,085	1,761,242	4,843	0.3